2026年11月4日

各　位

会　社　名　スミダコーポレーション株式会社
代表者名　代表執行役ＣＥＯ　堀　寛　二
（証券コード6817東証プライム市場）
問合せ先　広報・IRチーム Tel. 03-6758-2470

通期業績予想の修正及び期末配当予想の据え置きに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年2月6日に公表した 2026年12月期通期連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせします。

なお、2026年12月期期末配当予想については変更ありません。

記

1.　通期連結業績予想の修正について（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想（A）（2026年2月6日発表）	156,000	7,500	4,850	3,650	110.40
今回修正予想（B）	163,800	6,000	3,100	2,300	69.50
増減額（B－A）	7,800	△1,500	△1,750	△1,350	－
増減率（%）	5.0	△20.0	△36.1	△37.0	－
（参考）前期実績（2025年12月期）	147,194	7,439	4,830	3,618	109.47

※業績予想の前提となる為替レート及び銅価格は下記の通り想定しています。

為替レート：　米ドル/円　158.00円
ユーロ/円　183.00円
人民元/円　23.00円
香港ドル/円　20.00円

銅価格：　13,000 米ドル/トン

2.　修正の理由

当社グループでは、中期経営計画2026-2028において成長ドライバーと位置づけるxEV関連、データセンター関連及びSchmidbauer関連の3領域を中心とする事業が拡大し、当第3四半期連結累計期間の売上収益は過去最高となりました。一方で、為替変動による損益へのマイナス影響や、銅をはじめとする原材料価格の高騰が続く中、販売数量の増加、原材料価格の売価への転嫁、新製品の立ち上げ、生産性改善等による収益性改善に取り組んでまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結会計期間におけるこれらの施策による利益改善効果が当初の想定を下回ったことから、足元の事業環境を踏まえ、通期業績予想を修正することとしました。

足元では売上収益は堅調に推移しており、当社グループでは、これを着実に利益につなげていくことが重要な課題であると認識しています。この課題に対し、収益性の改善に向けて実行可能な施策を最大限講じてまいります。

3.　期末配当予想について

当社は株主還元の強化のため「連結配当性向30%以上及び株主資本配当率（DOE）3%等も考慮した配当の実施」を配当方針としています。

通期業績予想を下方修正しますが、当社の配当方針及び中長期的な株主価値の向上を踏まえ、今期期末配当は期初予想を据え置き、1株当たり27.0円とする予定です。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以　上